

平成25年度 新潟市家庭部 活動報告

部長 松本 朋子

1 研究主題

できる喜びを感じ、生活をよりよくしようとする子どもの育成
～かかわりを大切にした問題解決的な学習の工夫～

2 研究の概要

「見通しをもった題材構成の工夫」「かかわりの重視（体験的な活動、調べ活動、言語活動）」「学びの振り返りと評価」の3つを研究の視点として、それぞれの内容に迫る指導方法について研究を進めた。夏休みには、「題材構想と本時の計画」について研修を行い、「学びの構造図」や「本時の構想カード」を基にした模擬授業も実践した。これにより、見通しをもった題材構成や題材を貫く子どもの課題などが見えてきて、実践力の向上につながった。



3 研究の実際

(1) 授業研究・・・12月11日

新潟市立新通小学校 小黒美和子 教諭

5年「気持ちよく生活しよう～めざせ！すっきりマスター～」

子どもたちは、「すっきりマスターになろう！」を合い言葉に、のっている汚れの落とし方・「上から下に」「奥から手前に」といった掃除をするときの手順を前時までに学習し、身に付けてきた。本時では、木の板やアクリル板にくっついたごはん粒・油性ペン汚れ・水性ペン汚れをきれいに落とすことを目的に授業を展開した。子どもたちは始めに、乾いたぞうきんを使って挑戦していたが、思うように汚れが落ちず、水性ペンとごはん粒の汚れについては、ぬれぞうきんで水拭きすることで汚れが落ちることを発見した。しかし、油性ペンだけは水拭きだけで汚れを落とすことができなかった。子どもたちは、生活経験を生かし、相談しながら試行錯誤し、洗剤やスポンジ、歯ブラシといった用具を工夫して使い、汚れを落とすことに挑戦した。

本時の汚れ落としの試しの実習を通して、子どもたちは、汚れのそのものの種類やくっついている物の材質に応じて掃除道具を変えてきれいにすることを学んだ。

(2) 実技講習会・・・7月10日 新潟調理師専門学校

「ご飯炊きとお弁当のおかず」

1食分の献立について子どもたちに習得させたい基本的な調理の技能を実習で学んだ。お弁当という形にすることで栄養のバランスだけでなく、彩りや切り方などを実践的に教えていただいたので、すぐに授業で使える内容となり、とても参考になった。



4 成果と課題

・ 模擬授業や授業実践を通して、題材や本時を貫く子どもの課題の重要性と、個々の子どもたちの現状から授業で目指す子どもの姿をどこまでもっていくか、実習における具体的な評価の仕方などについて共通理解を図ることができた。